

キリスト教委員会のHP(<http://rakuno-ce.org>)にアクセスして事前に聖書や讃美歌の確認をしましょう。

帯をして、自分のろばに寄せ、宿屋に連れて行って介抱した。³⁵そして、翌日になると、デナリオン銀貨二枚を取り出し、宿屋の主人に渡して言った。『この人を介抱してください。費用がもっとかかったら、帰りがけに払います。』³⁶さて、あなたはこの三人の中で、だれが追いはぎに襲われた人の隣人になったと思うか。」³⁷律法の専門家は言った。「その人を助けた人です。」そこで、イエスは言われた。「行って、あなたも同じようにしなさい。」

【講師からのメッセージ】

クリスチャンは聖人か。「あの人クリスチャンなのになんであなの？」
「あの国、キリスト教なのに戦争ばかりしてるのはなんで？」・・・時に自分の一挙手一投足はキリスト教やクリスチャン全体を映す鏡となります。
キリスト教の教えで最も大切なものはなにか。「隣人を愛せ」とよく耳にします。では隣人とは誰で、愛するとは何なのか。実はクリスチャンであってもイエスの「行って、あなたも同じようにしなさい」という言葉を本当の意味で理解できずにいると感じます。私たち人間の罪をゆるすために十字架にかけられたとされるイエスの道を歩むことは「行って同じようにすること」、人をゆるすこと、愛することに尽きるといっても過言ではありません。信仰とは、ゆるされた恵みに感謝し喜んで生きることの裏側で、時に歯を食いしばり、身をよじりながらも人をゆるすこと、愛することなのかもしれません。

【講師の紹介】横川容子（よこかわ・ようこ）先生（社会連携課課長）

茨城県出身、祖父が日本聖公会の司祭というクリスチャンホームに生まれました。高校は山形県の基督教独立学園高等学校で寮生活を送り畜産部に所属。キリスト教について本気で学びたいと思い立教大学文学部キリスト教学科に入学し、学問としてのキリスト教と大学チャペルの聖歌隊活動に没頭しました。大学卒業後も聖公会神学院で更に3年間学ぶ中、実習先である栃木県のアジア学院で今もお世話になっている朴先生、インドの三浦照男先生に出会いました。その後2002年とわの森三愛高校の聖書科教諭として入職、2012年に大学事務職に移った後は主に国際交流の業務に従事し、2026年4月から社会連携課の業務に就いています。

【次回の大学礼拝】2026年11月10日（火）10時40分

聖書：ヨハネによる福音書6章52-59節
奨励：「全てを賭して——イエスを覚え続ける」小林昭博（宗教主任）
讃美歌：21-403番、21-522番

【前回の大学礼拝】2026年10月27日（火）

学生：60名 教職員：8名 合計：68名

【大学礼拝週報】2026年度 第21号（後学期第6号）

2026年11月3日（火）午前10時40分

酪農学園大学 黒澤記念講堂

《秋期キリスト教教育強調週間礼拝》

司式 小林昭博（宗教主任・循環農学類教授）
奏楽 佐藤理恵（日本基督教団野幌教会オルガニスト）
讃美指導 相原晴伴（農環境情報学類長・教授）

前奏	天にましますわれらの父よ（ブクステフーデ作曲）
讃美歌	1-422番（われらたがやし）
聖書	ルカによる福音書第10章25-37節
さんび	酪農学園大学聖歌隊
奨励	「行って、あなたも同じようにしなさい
祈り	——天国銀行と“Pay it Forward” 横川容子
讃美歌	1-121番（まぶねのなかに）
報告	
後奏	おお、イエス・キリストよ、わが生命の光よ（ヴァーク作曲）

【本日の聖書】ルカによる福音書第10章25-37節（新共同訳）

²⁵すると、ある律法の専門家が立ち上がり、イエスを試そうとして言った。「先生、何をしたら、永遠の命を受け継ぐことができるでしょうか。」²⁶イエスが、「律法には何と書いてあるか。あなたはそれをどう読んでいるか」と言われると、²⁷彼は答えた。「『心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい、また、隣人を自分のように愛しなさい』とあります。」²⁸イエスは言われた。「正しい答えだ。それを実行しなさい。そうすれば命が得られる。」²⁹しかし、彼は自分を正当化しようとして、「では、わたしの隣人とはだれですか」と言った。³⁰イエスはお答えになった。「ある人がエルサレムからエリコへ下って行く途中、追いはぎに襲われた。追いはぎはその人の服をはぎ取り、殴りつけ、半殺しにしたまま立ち去った。³¹ある祭司がたまたまその道を下って来たが、その人を見ると、道の向こう側を通って行った。³²同じように、レビ人もその場所にやって来たが、その人を見ると、道の向こう側を通って行った。³³ところが、旅をしていたあるサマリア人は、そばに来ると、その人を見て憐れに思い、³⁴近寄って傷に油とぶどう酒を注ぎ、包